

# 「原発再稼働と“地元同意”を問う」 市民運動の最前線を学ぶ・語る

日時：2018年 **7月20日(金)15時～17時**

会場：**県民ふれあい会館 4階中研修室**（鳥取駅徒歩5分、駐車場有）

講演：**原発再稼働「地元同意」なるものは  
いかになされたか  
～「川内方式」を乗り越えるために～**

講師：**水藤周三** 氏

原子力市民委員会事務局

認定NPO法人 高木仁三郎市民科学基金事務局



原子力規制委員会が新しい規制基準を定めて以降、初めての再稼働に揺れた川内原発の地元住民と地元自治体の動き、周辺自治体の反応、「説明会」と別途に開催された市民による「公開討論会」や「自主的公聴会」などを通じて、原発再稼働における「地元同意」の問題を取材。

その教訓や、「川内方式」と呼ばれた同意方式を乗り越えようとする茨城県の東海第二原発周辺自治体・市民運動の動きなどを中心にお話します。

参加費：300円

主催：市民エネルギーとっとり

問合せ・申込先：070-5554-5813(手塚)

## ★講師プロフィール

1983年生まれ。「NPO法人高木仁三郎市民科学基金」事務局。また市民シンクタンク「原子力市民委員会」の事務局として『原発ゼロ社会への道—市民がつくる脱原子力政策大綱』（2014年）、『原発ゼロ社会への道 2017—脱原子力政策の実現に向けて』（2017年）などの作成に携わる。

「脱原発をめざす首長会議」戦略会議メンバー、「国際青年環境 NGO A SEED JAPAN」『核ゴミプロセスをフェアに！』プロジェクトアドバイザー、「いわき放射能市民測定室たらちね」東電福島原発沖海洋調査班ボランティアなどとしても活動している。